

まっちゃんぐ

# 街 ing いばらき NEWS

No.276

2026年

2月号

(毎月25日発行)

## 転 職

杉山英俊

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、昨年、関西万博が閉幕したちょうど同じころ、諸事情から私が長年営んできた設計事務所を廃業し、サラリーマンに転職しました。という事で、今回は全く私的な内容のご報告です。

この歳で個人事業主からサラリーマンに転職して、環境が劇的に変わるわけですが、当然不安がありました。(というより、ほぼ不安しかありませんでした・・・) 通勤については、もともと早起きだったので苦にならず、比較的早い電車に乗るので超満員電車というわけでもなく、そんなに心配していなかったのですが、やはり一番の不安は、今まで自分のペースで、つまり時間的に自由に仕事していたので、これからは仕事以外のことをすることがしにくくなるという事です。実際に働いてみると、当たり前ですが、朝から晩まで拘束されて(居眠りもなかなかできず・・・)、自分の時間がほとんど取れなくなりました。朝7:00に家を出て、夜8時を超える頃にヘトヘトで帰宅するので、ご飯を食べて入浴して少し休憩するころには、テレビの前でダラダラウトウトしてしまいます。これが毎月決まった給料をもらうという事だったなあと、改めて新鮮な気持ちと、その昔会社務めをしていたころの思いが蘇って、これはこれで良いものだとか妙に納得したりもします。

もう一つの不安は、自分の経験や能力が本当に役に立つのかというものでしたが、自分で言うのもなんですが、何から何まで自分で作業し解決しなければならない自営業というのはたいしたもの、意外と役に立っており、自画自賛しています。会社員は自分の部署の、限られた仕事をすればお金が貰えるんだっただけなあと、今更ながら思い出しました。

もちろん良い面もあり、毎月安いながら安定した収入が貰える・・・というのが一番にあるわけですが、それ以外に長い間忘れていたことが、「仲間と一緒に仕事ができる」という事でした。友達や市民活動などの仲間はもちろんこれまでも居り、そちらも大事な仲間なのですが、これまで仕事は自分ひとりで全てこなしてきたので、仕事として誰かと同じ目的を共有し、協力しながら解決して行けるというのは、こんなにも気持ちが違うものだった!と、改めて感じました。そういえば30~40年前と一緒に仕事をしていた元同僚たちと、今でも年数回呑みに行っているくらい、大事な時間を共有していたという事ですね。

この歳でも雇って頂ける会社があり (indeed さんありがとう)、設計としての仕事を与えて頂いているわけですが、転職して3か月ほどを新しい環境で過ごし、良いことも不安なことも、まだまだ新鮮な気持ちで、ある意味若いころを思い出しながら、楽しみながら過ごしています。ということで、今回は超個人的なご報告と感想でした。

## 街 ing 分科会

# ヤンマービルのビュッフェで昼食を

梅田にあるヤンマービル 12 階。平日は社員食堂ですが、週末は「SEA & FARM」のレストランとして一般に解放されています。ここは自然と都会が融合した空間、と話題のスポットになっています。今回の街歩きでは、このレストランを訪ねビュッフェスタイルの昼食をいただきます。ヤンマービルの一部は「山岡メモリアルビル」と呼ばれており、牧さんが設計されました。当日はこの「山岡メモリアルビル」の解説を牧さんから聞かせていただきます。昼食後は、近年大きく変貌を遂げたウメキタを散策します。ぜひご参加ください。

### 記

- 1 実施日 : 2025 年 3 月 8 日(日)
- 2 集合 阪急茨木市駅 10 時 30 分 10 時 37 分 梅田行き準急乗車
- 3 行程 「山岡メモリアルビル」見学 (11:15~11:40)  
ランチビュッフェ (11:50~13:20) 『SEA & FARM by YANMAR MARCHE』  
14 時 30 分頃 ウメキタで解散
- 4 参加費 2,700 円 (食事代・税込) ※飲み物: ソフトドリンク飲み放題
- 5 その他
  - ① 参加者への会費補助はありません
  - ② 昼食は、多彩なビュッフェメニューで自由に組み合わせで楽しめるスタイルです。
  - ③ 昼食時のビールは別料金 (700 円)
  - ④ 雨天時でも実施
  - ⑤ 申し込み後欠席される場合は、事前にご連絡願います。

参加される方は、返信メール 電話にてご連絡ください。

連絡先 阪田 072-627-3480 または 08014369881

申し込み締め切り 1 月 31 日(土)

以 上

# ヤンマーと社員食堂

ヤンマーは、1912年（大正元年）に大阪で創業された、日本を代表する機械・エンジンメーカーです。創業者・山岡孫吉がドイツで学んだディーゼル技術をもとに「山岡発動機工作所」として歩みを始めて以来100年以上。“小さなディーゼルエンジン”を原点に、農業機械、建設機械、船舶用エンジン、エネルギーシステムなど、陸・海・都市を支える事業を広げています。

現在の本社は大阪・茶屋町のヤンマービル。この洗練された本社ビルの中で、近年ひそかにというよりは堂々と、注目を集めているのが社員食堂の一般公開です。普段は社員の健康を第一に考えたメニューを提供しているこの食堂が、週末に「Premium Marché OSAKA」として一般開放され、地域の人々もランチを楽しめる場となっています。生産者の思いが伝わる食材、農や食の背景を大切にされた料理は、「社員食堂」のイメージを軽々と超え、ちょっとした“食のイベント空間”として評判を呼んでいます。

食堂で味わえるのは料理だけではありません。ヤンマーと聞いて、あのコマーシャルソングを思い出す人も多いでしょう。テレビから流れてきた軽快なメロディに合わせて、つい口ずさんだ経験は、昭和生まれの世代では共有されているはずです。そんな“耳に残るヤンマー”の記憶を胸に、食堂でランチを頬張ると、不思議とごはんまでテンポよく進む気がするのです。

この社員食堂の一般公開は、単なる話題づくりではありません。地域と企業をつなぎ、食と農を通じて持続可能な社会を考えるという、ヤンマーの理念そのものを体現した取り組みなのです。エンジンで世界を動かしてきた企業が、今度は“食”で人の心と地域を動かす。その姿はどこかあのコマーシャルソングのように親しみやすく、そしてしっかりと記憶に残ります。確かな技術と社会に開かれた姿勢を併せ持つヤンマーの未来は、大阪のヤンマービルから日本国内のみならず世界へと広がっています。

ぼくの名前はヤン坊  
ぼくの名前はマー坊  
二人合わせて ヤンマーだ  
君と僕とで ヤンマーだ  
農家の機械は みなヤンマー

漁船のエンジン みなヤンマー  
ディーゼル発電 ディーゼルポンプ  
建設機械も みなヤンマー  
小さなものから 大きなものまで  
動かす力だ ヤンマーディーゼル

# ＜けいはんな記念公園・国立国会図書館関西館＞探索

2026年4月2日(木)

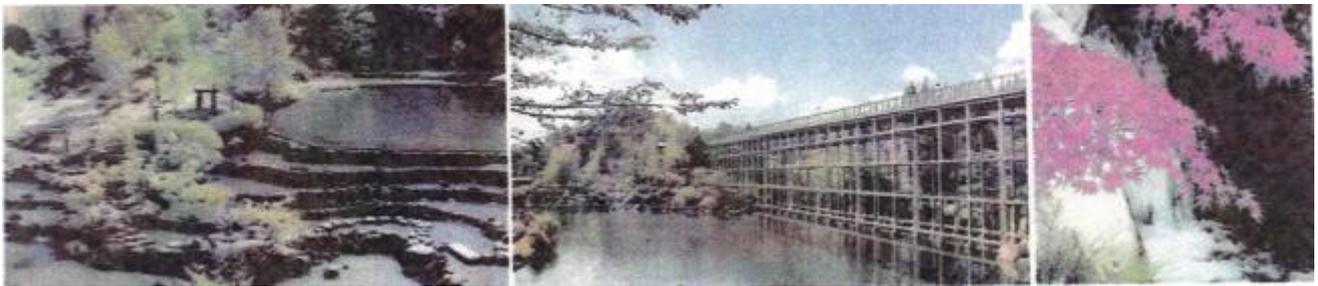
京都・大坂・奈良の三府県に跨る京阪名丘陵に、文化・学術・研究の新しい拠点創り目指して、関西文化学術研究都市＜愛称：けいはんな学研都市＞が1994年に“都市開き”しました。

＜けいはんな学研都市＞は、産・学・官などの協力と連携を基に一大国家プロジェクトとして建設が進み、世界的な学術研究機関・国際的交流拠点の他に、新たに戸建て・中高層居住地域や都市基盤も整備され、緑豊かな未来志向の都市環境の創出が図られています。

また、＜けいはんな学研都市＞建設記念として、日本の里山をテーマとした＜けいはんな記念公園＞では、水景園（日本庭園）、芽吹きの里（里山）、棚田風広場などが四季折々の風情（観桜・紅葉狩りなど）を醸し出しています。

早春の一日、水清き木津川沿いをガタゴト走るローカル電車に揺られ、平成の＜池泉回遊式日本庭園・水景園＞で童心に帰り、暫し自然（風・水・花・緑）と戯れようではありませんか！

水先案内人：牧 彰（会員）



現代の池泉回遊式日本庭園＜水景園＞

## ◇庭屋一如の設計思想 「国立国会図書館関西館」

国立国会図書館は、昭和23年（1948）に設立された日本で唯一の国立図書館。納本制度に基づいて、国内で刊行される出版物の網羅的な収集・保存に努めている。また、外国の出版物については、重点分野を定めて選択的に収集している。原則として、満18歳以上なら誰でも利用できる。

関西館は、近畿圏の大規模な調査研究図書館としての役割を果たすことを目的に、＜けいはんな学研都市＞に平成14年（2002）に開館した。蔵書数：約4,000万点  
設計：陶器二三雄「国際建築設計競技」で選出  
関西館参観 14時～（約70分）



## ◇バブル建築の象徴 旧「私のしごと館」

厚生労働省所管の独立行政法人雇用・能力開発機構が＜けいはんな学研都市＞に平成15年（2003）開館し、同22年（2010）閉館。その後同機構も廃止された日く付きの象徴的“バブル建築”。

実物大？の「宇宙ステーション」、一体数百万円の「ちょんまげ人形」、一度も使われない「燻蒸庫」など。581億円投じたものの“無駄使いの典型”と批判を浴びて、僅か7年で閉館した「勤労体験施設」。外観のみ見学

○参集地：JR「茨木」駅9時45分

○順路：JR「茨木」9：53⇒「京都／近鉄」10：26⇒10：55「新祝園（しんほうその）」<sup>バス</sup>→「けいはんなプラザ」～（昼食）～国立国会図書館関西館（14:00～）～旧私のしごと館～けいはんな記念公園（水景園・桜の芝生広場）→「新祝園・京都・茨木」

○入園料：水景園220円（一般）、110円（65歳以上）

○昼の宴：ベーカリーカフェ「ブルーランジェ ヤマダ」11時30～13時（700円～800円）

○定員：12名程度（会員及びその家族・友人・知人など）

○申込先：「街ing いばらき」代表・阪田 浩（080-1436-9881）締切り2月28日（土）

Tel&Fax/072-627-3480 [E-mail/ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp](mailto:ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp)

※本会行事は、自由参加です。不測の事故・傷害などは、自己責任でご対応ください。

## ◇けいはんな学研都市とは！？

けいはんな学研都市（正式名称：関西文化学術研究都市）は、京都、大阪、奈良の3府県に跨る京阪奈の緑豊かな丘陵に、関西文化学術研究都市建設促進法に基づいて、建設・整備されているサイエンスシティです。

東の「つくば研究学園都市」と共に国家プロジェクトに位置付けられ、総面積は約15,000ha。その中に、12の文化学術研究地区（約3,600ha）を分散配置しています。

京都市・大阪市の中心部から30km、奈良市の中心部から10kmの圏内に位置し、現在、160を超える研究施設、大学施設、文化施設などが立地し、各立地施設における就業者数（研究者及び職員など）は概ね1万2000人となり、文化、学術研究などの分野で顕著な成果を上げています。



## ◇けいはんな記念公園とは！？

けいはんな記念公園は、京都府相楽郡精華町にある都市公園（総合公園）です。けいはんな記念公園は愛称で、正式名称は「京都府立関西文化学術研究都市記念公園」です。

関西文化学術研究都市（けいはんな学研都市）建設を記念し、また、平安京遷都1200年を記念する事業の一つとして、1995年（平成7年）4月に開園しました。

学研都市中核地区の精華・西木津地区に位置していて、周辺には国立国会図書館関西館や、けいはんなプラザなどの学研都市の主要施設があります。

けいはんな学研都市の理念である「自然との調和」をテーマに設計され、24.1haにもなる広大な公園であり、14.1haの自然保全区域と、10.1haの交流施設区域とに分けられています。

自然保全区域はもともとあった自然林や永谷池を活かした自然を楽しむ区域であり、交流自然区域は人々の交流を目的に「芝生広場」「谷あい」「日本庭園（水景園）」などが設置されています。また、公園のイメージシンボルが「月」であり、水景園は月の新名所となることを目指した観月橋や、月を意識させるオブジェが設置されています。

里山の自然が美しい広大な公園ですが、「春は桜、夏は木漏れ日、秋は紅葉、冬は雪景色」というように、自然と四季が楽しめ、日本の原風景が体感できるように設計されています。

また、平成18年度より指定管理者制度が導入され、管理・運営を民間委託されたことにより、各種イベントが開催されるようになり、大いに活性化しています。特に、春秋の行楽シーズンには多くの人々が訪れ、「近畿圏の新しい観光スポット」となっています。



## 『オルゴールが織りなす不思議な響き♪』

笹嶋 節子

オルゴールの起源は、中世ヨーロッパの時計塔を紐でひっぱって鳴らしていた鐘を自動で鳴らす「カリヨン」（自動演奏装置）が見られるようになり、1976年時計職人アントワーヌ・ファールブルが「シリンダーオルゴール」（懐中時計に組み込む小型音楽装置）として開発しました。

その後1840年頃にはスイスで産業として花開き、高級品として愛好され全盛期を迎えました。しかしエジソンが発明した蓄音機の登場で一度は衰退もしましたが、第2次世界大戦中アメリカ軍の間で優しい音色と温かみからオルゴール産業は復興したようです。

日本へは1852年オランダ人により江戸で見世物として公開され注目されました。当時「オルゲル」として伝来しましたが、訛って「オルゴール」という言葉で定着しました。明治時代には「自鳴琴」（じめいきん）とも呼ばれ本格的な製造が始まり、第2次世界大戦後は技術の進化により一時は世界生産シェア90%を占めるまでになった事もありました。

オルゴールは耳に聞き取れない高周波、低周波音を含み、脳に作用し骨伝導を通じて**脳幹の血流を改善する**と考えられているようで、自律神経のバランスを整えリラックス効果や睡眠の質の向上、自然治癒力の活性化、また**脳の記憶に関わる側頭葉にも刺激**を与え認知症予防など心身の健康に良い影響を与えるとされています。これは一部の医療機関でも取り入れられているそうです。「オルゴール療法」は特定の病気を治すと断定するものではありませんが、治癒力を高めるアプローチとして注目されていて、待合室などでオルゴールが使われているのも患者さんの緊張を和らげ待ち時間を快適にする効果を期待しているとか・・・？ デジタルで完璧な音があふれる現代だからこそ、オルゴールが織りなす優しい音色に改めて皆様も耳を傾けてみられてはいかがでしょうか♪





## カラスよけに秘策、市職員のアイデア 杉田 宗三

宮崎県日向市の事例についてのネット記事を紹介します。

市内にはごみ置き場が約 1400 カ所あり、うち 6、7 割がネットをかけるタイプ。かけ方が不十分だったり隙間があったりすると、カラスがごみをついばむことが多く発生。「荒らされた」という通報が多い時には 1 日 2、3 件寄せられ、そのたびに収集業者や市職員が出向いて掃除してきた。

そこで市環境政策課の課長補佐、奥原孝雄さん(60)がごみの集積所を荒らすカラス対策として黄色地に黒のドットを入れ、ゆがみを加えたデザインの表示板を考案。A3 判に印刷して防水加工し、ネットに取り付けられるようにした。



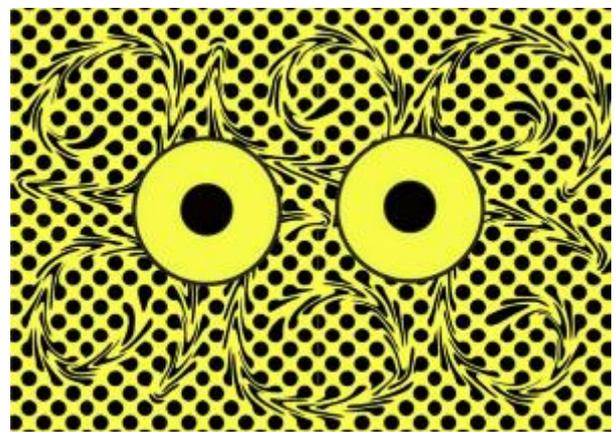
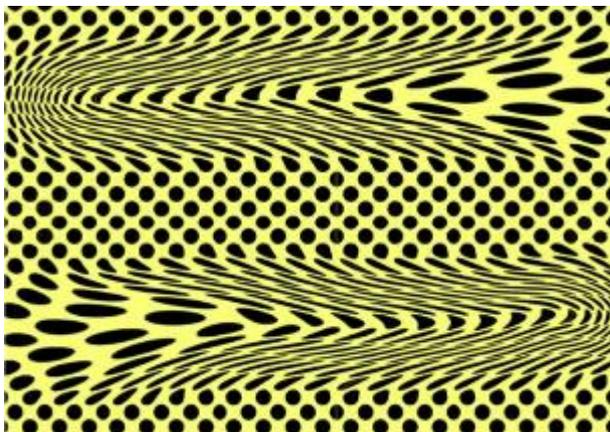
市内の被害が大きかった集積所 79 カ所に取り付け、2 週間に亘り収集のたびに散らかり具合を調べた結果、延べ 430 回の収集のうち、被害ゼロが 326 回、わずかだったのが 53 回。88%で効果があったという。

現場で収集作業をする日向衛生公社の若杉友輔さん(33)は「時には車道いっぱいにごみが散乱し、掃除するだけでも危険だった。効果は実感している」と話す。その後、奥原さんはカラスが慣れることを見越し、目玉入りのデザインやタカの目を入れたデザインなど「二の矢」「三の矢」も用意し、いまは全部で 10 種類に増やした。

カラスが寄りつかなくなった理由は分からないが、コストをかけずに困りごとを解決できた。「軽い気持ちで始めたが、ここまで結果が出るとは……。掃除の手間を省き、まちの美しさにつながればうれしい」と話す。

表示板のデザインのうち 8 種類が、市のホームページからダウンロードできる由。

<デザイン例>



## 次回のイベント

街歩き 2026年3月8日(日) 梅田ヤンマービルとウメキタ 10:30 阪急茨木市集合

### 次回『街ing いばらき』例会のご案内

日時： 令和8年3月5日(木) 14:00~16:00

場所： 川本本店 茨木市上泉町 6-29

議題： 1. 3/8(日)のヤンマービル

2. 4/2(木)のお花見

3. 2026年のイベント 他



## 『街ingいばらき』とは？

茨木のまちづくりを考える市民グループです。といってもあまり硬いことではなく、月一回の例会や年5回程度の街歩きを行っています。

参加資格は問いません。入会に関心のある方は、お問い合わせください。

とりあえずのご見学や、イベントの単発参加も歓迎します。

入会金 1,000円 会費 年間2,000円(一か月170円)



### 《 編集後記 》

- 2026年が始まりました。昨今の頃は4月13日の万博開幕をひかえてそろそろ盛り上がるかなという時期でした。1年は早いですね。
- 街ingの行事は3月のヤンマービルでのランチ、4月はお花見です。2~5ページに案内を掲載しています。ぜひご参加を。
- 今年も安全に気をつけて、楽しく活動していきましょう。

### 《 編集・発行 》

阪田 浩 〒567-0881 茨木市上中条一丁目 10-22

Tel/Fax 072-627-3480

e-mail: ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

街ing ホームページ : <http://wwa.machiing-ibaraki.com/>

ホームページは杉田さんが作成されています。ときどきはのぞいてみてください。

2026年1月現在での訪問者は10,660 <前月比30の増加> となっています。

